

民主党「光と影プロジェクト」設置

小泉改革の『格差社会』を問う

前原誠司民主党代表が各党代表質問において、小泉改革に伴う光と影について、「格差社会が広がっている」と質問をした際、小泉総理は、「影というものはなく、格差は開いていない。統計上どこに格差が開いているのだ」という、まさに現実離れした答弁をしました。連立政権を組む公明党の神崎代表でさえ、代表質問で「格差が開いている」と話しているのです。この事は、現実を知らない人が総理大臣の椅子に居座っている大変な問題だと思います。

「格差拡大はない」とする小泉総理の主張は、「格差拡大」「勝ち組・負け組」「高所得者優遇」を是とする市場万能主義型社会をめざす小泉「構造改革」の本音そのものではないでしょうか。「格差拡大」を認めない小泉総理の発言の背景には、現場と普通の人を大事にしない価値観があるのではないのでしょうか。

格差拡大の大きな原因は、低所得者層、貧困層が増加したことであり、貧困層の固定化も懸念されています。数多くのデータが二極化の状況を示していますが、小泉総理は、これらはすべてウソだというつもりなのでしょうか。各マスコミのアンケート結果も「格差がある」「格差が拡大する」「将来が不安だ」という答えが多くなってきました。これら全てに政府はどのように反論をするつもりなのでしょうか。小泉さんの一流の言い回しで、「格差」を「多様性」という言葉にすり替え、苦しんでいる国民を見てもみぬフリをするおつもりなのか。特に、若年層における格差の問題はきわめて深刻であり。若年層における格差拡大の現状は明らかであります。将来には「さらなる格差拡大」を生み出しかねない、きわめて重要な課題であるにもかかわらず、政府における問題意識がきわめて甘いといわなければなりません。

「内山あきら」検証プロジェクトチームに参加

民主党は「小泉政権の光と影」検証プロジェクトチーム（主査・松本剛明政調会長）を立ち上げ、小泉構造改革の検証ともたらした影響について、原因を究明しながら数字を確認し、小泉首相をはじめとした政府の姿勢について明らかにしていきたいと考えています。「内山あきら」も、メンバーの役員に選出されました。これからも、小泉政権が、生活弱者を切り捨て、財政赤字を増大させ、そのツケを現役世代に回し、所得格差を拡大させたと厳しく批判しつつ、「人権問題にきわめて冷淡な」政治姿勢を厳しく追及してまいります。「行革なくして増税なしを貫き通す」とともに、「効率的だが人に温かい政治」の実現のため、頑張つてまいります。

日本の貧困の格差は？ 広がっている？ 広がらない？

(NKK調査)